

コース 43 こうしさん 豪士山

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成27年 10月 25日(日) 天候 くもり、強風
 参加者 24(男性 9 女性 15) グレード B上~C

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	東、会津方面は黒い厚い雲
会津若松 IC		6:56	会津盆地上空雲の切れ間あり。明るい
元宮キャンプ場・登山口	8:40	8:50	強風だが、山頂の吹きさらし以外は心配ない。
露岩地	9:25	9:30	断崖の縁への寄りすぎに注意 写真
沢出合	10:40	10:45	ここまでほぼ平坦、黄紅葉の樹林見事
豪士峠	11:00	11:05	急登ひと登りで峠(米沢と福島をつなぐ)
豪士山山頂	11:20	11:30	本来360°の大展望、今日は吹きさらし
元宮キャンプ場	14:10	14:25	往路を戻る
会津若松 IC	16:43		行きは道の駅「田沢」帰りは「喜多方」で休憩
秋葉区役所前	18:20		予定より40分早く帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- 豪士山への担当幹事は過去2回行っている。いずれも頂上付近の稜線が黄紅葉に染まるこの時期だった。また山頂は360°の大展望で、飯豊、大朝日、月山、蔵王山塊、吾妻連峰が見渡せた。しかし、今回は山頂への稜線は枯れ葉、枯れ木で、今年はどこでも紅葉の盛りが早まっているのをここでも感じた。その代わり途中の樹林の黄紅葉は見事で、皆さん一応満足だったようだ。
- さらにこの日は冬型の気圧配置から来る強風で、中・近景はよく見えたが遠望は充分には利かず、吹きさらしの山頂からほうほうの体で下山、担当幹事としては何よりも残念だった。それでも山頂直下の平坦地でお昼を摂ることができたが、だんだん体が冷えてきて結局早めの下山となった。
- この山は米沢から福島へ抜ける、昔からの峠道に当たる山なので道はしっかりしているが、それでも始めと終わりに急登(急下降)が2回ほどあり、また途中片側が切れ落ちている所が2回ほどあって、ゆっくりと気をつけて通過するように心がけた。皆さんも十分用心して歩き、また岩石や木の根道では互いに注意、協力し合い、結果的に全員無事で山行を終えることができた。
- 担当幹事が当初計画で期待した点は満足とは行かなかったが、変化に富んだこの山の魅力を皆さんから一応感じ取ってもらえたのではなかろうか。



山頂は強風で居たたまず、写真の後、直ちに下山、直下の平ら地で、昼食を、寒気でそそくさととる。

「豪士さん ゴメンナサイ」

(1473) N/N

枯れ葉散る豪士山から帰って1ヶ月になります。いくつかの不安にかられた山行でした。言うまでもなく、山々は自然の移ろいをそのままに温かく迎えてくれました。それなのに私は、未だにスッキリ、ハッキリした気分になれないのです。

まず、中腹での細い道、片側が削げ落ちたほんの数メートルの場所なのです。そんな場所なのに遭難した時、えっ、どうしよう！思いなしか谷川に傾いてもいます。恐る恐る精一杯集中して歩を運んだものの、遅れがちになりました。

そんなことはかつて無かった、初めて！と思う。そして、苦も無くスイスイ通過したであろうものを。「何てこった！」来年の山行が思いやられる。そんな心境も覚えのないことでした。

次に思い出したのが、前の月の国会中継、全国津々浦々で反対の声が上がっているのに、憲法違反の法律を強行採決した時のライブのテレビ中継。いやな気分の不安つながりではないかしら。浮かない気分でした。樹々の黄葉がぶちて見えました。その風景たるやダークグレーのキャンバスに黄と焦げ茶そして黒のクレヨンを一筆鋭角に描き殴ったような画面、そこでの私の心象風景でした。どうも豪士さんに八つ当たりしてしまったようですね。



豪士峠下方へジグザグ降りると、沢を詰めた所の水場、
強風は当たらずホットー息をつく

その後、あまり間をおかず登った王城山は、青空いっぱい紅葉が映えて、まことに輝くばかりでした。ナナカマド、ダテカンバ、カエデ、緑は主のごとく年中頑張っているのですね。

たどる山の道はサクサク、吾が至福の時。厳しくも優しいリーダーの方々と愉快的ハイカー、善男善女のこの上ないパーティーであります。無事下山すれば、やがて晩秋暮れなすむ真っ暗な街に新津駅のライトが四方八方に光彩を放っていました。

秋の山歩きはこれで終わりです。ピカッ、雪下ろしの雷？冬将軍がきれいに黒い霧を払ってくれないものか。これもあれもあまりに不安材料の多いこの頃じゃございませんか。

乱文乱筆お許しください。